患者様の尊厳と安心のために

帯広徳洲会病院
2026年8月19日

身体的拘束の最小化に向けた取り組み♪

当院では、患者様の尊厳を守り、安全で質の高い医療・看護を提供するため、身体的拘束の最小化に全職員で取り組んでいます。



基本方針

当院は、患者様の尊厳保持を最優先とし、

原則として
身体的拘束を行いません。

ただし、生命の危険が生じる等、やむを得ない場合には、一時的に実施せざるを得ないことがあります。その際も、患者様の安全と苦痛の最小化を最優先に、他職種による専門チームが慎重に判断し、必要最小限の対応と早期解除に努めます。

私たちの取り組み

多職種チームで慎重に判断

医師・看護師・リハビリ・薬剤師・相談員などが連携し、チームで慎重に評価・判断します。

最小限・短期間での対応を徹底

やむを得ない場合でも、必要最小限にとどめ、早期の解除を目指します。

拘束に頼らないケアの質の向上

全職員が「その人らしさ」を大切にしたケアを学び、実践できるよう努めています。

直近３ヶ月の身体的拘束率（実施割合）

6.71%



ご家族の皆様へ

患者様がその人らしく、安心して入院生活を送れるよう、ご家族の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。
身体的拘束の最小化に向けた取り組みについて、不安なことがありましたら、どうぞお気軽に主治医や看護師にご相談ください。

一人ひとりの尊厳を大切に、優しい医療・看護を目指します。